

新しい生活様式が定着？おうち時間改革元年の兆しに！

JCB、1,000人に聞いた「令和2年 みんなのおうち時間」を発表

キャッシュレス利用者は92.2% 約4人に1人がキャッシュレス利用頻度増加

“おうち時間”で10代は美容を意識、60代以上はデジタルシニアへ進化！？

在宅勤務者は出勤者の約1.5倍”健康消費”を行った傾向 最も大切なのは家族

株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役会長兼執行役員社長：浜川 一郎、以下：JCB）は、コロナ禍において“おうち時間”を過ごす日本の生活者を応援したいという想いから、「クイズ！ みんなのおうち時間キャンペーン」を実施いたします。それに合わせ、緊急事態宣言に伴う外出自粛期を経て、Withコロナというこれまでに経験したことのない時代を生きる生活者の新しい生活様式となる“おうち時間”の実態について、10代～70代の男女1,000人を対象に、「令和2年 みんなのおうち時間」の調査を実施しました。

調査により、外出自粛の影響によるネット通販サービス利用の増加や、店舗・オンラインそれぞれのシーンでのキャッシュレス決済利用頻度が増加していることが分かりました。さらに、コロナ禍における年代ごとの過ごし方の違いや、このような時だからこそ新たな“挑戦”エピソードなども見えてきました。

調査サマリー

消費

- Topic.1 コロナ禍で最も購入されたものはスマートフォン
- Topic.2 在宅勤務者は出勤者の約1.5倍 **健康消費を実施**
- Topic.3 デリバリー・宅配サービスの利用頻度に変化があった人のうち、
4人に1人が週に1回の利用へ

行動

- Topic.4 **キャッシュレス利用者は92.2%**
さらにコロナ禍で**約4人に1人がキャッシュレスの利用頻度が増加**
- Topic.5 **60代以上もキャッシュレス利用頻度が増加！**
ネット通販や動画サービス視聴など、シニア層のオンライン化が進む

意識

- Topic.6 **20～30代の10人に1人が投資を検討。**働き盛りは経済面の見直し
- Topic.7 **有職者の半数が「在宅勤務」を希望。**働く価値観にも変化
さらに**30代以下は在宅派、60代以上は出社派**と意識が分かれる傾向に
- Topic.8 **コロナ禍で最も大切だと気づいたことの最多は「家族」と3割が回答**

【調査概要】

調査名：「令和2年 みんなのおうち時間」の調査

データ集計期間：2020年8月26日～8月27日

調査方法：インターネット調査

調査対象者：全国15歳～79歳（15～19歳、20代、30代、40代～50代、60代以上（60～79歳））の男女

有効回答数：1,000名（男女各500／各年代200）

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

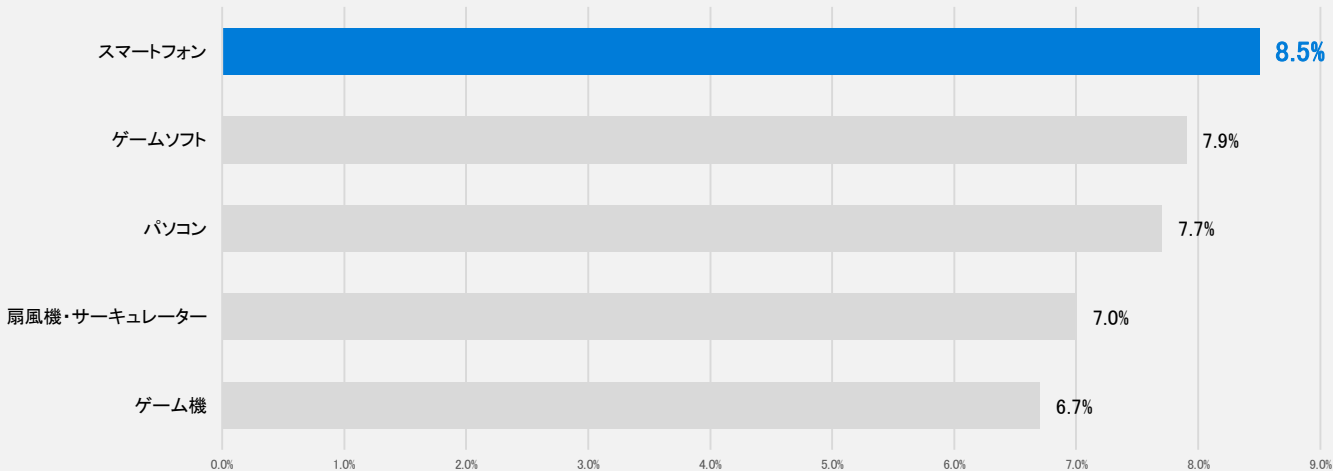
「令和2年 みんなのおうち時間」PR事務局（株式会社マテリアル内）

Mail： bp2-2g@materialpr.jp 担当：伊藤(080-5640-9707)/西谷(080-9880-1739)

Topic.1 コロナ禍で最も購入されたものはスマートフォン。 10代は美容を意識、60代以上はデジタルシニアへ。

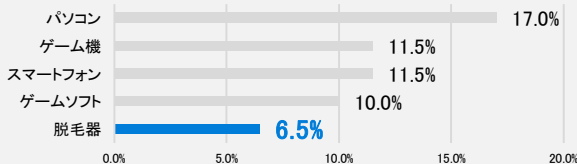
各年代ともにスマートフォンやゲーム機・ゲームソフトの購入がランクインしました。おうち時間を充実させるためや、楽しむための購買行動がうかがえます。60代以上でもスマートフォン、パソコン、タブレットがランクインするなど、世代問わずコロナ禍の日常でデジタルに触れる機会が増えたこともうかがえます。また、10代は脱毛器、30代には寝具がランクインするなど、年代ごとの需要の違いも見られました。

[新型コロナウイルス感染拡大後に、新たに購入した家具・家電を以下からお選びください]
(お答えはいくつでも)(全世代N=1,000)

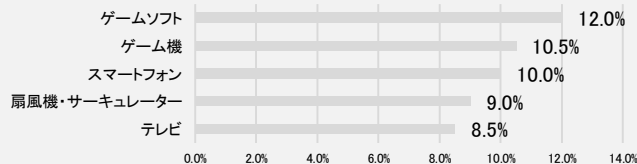


[新型コロナウイルス感染拡大後に、新たに購入した家具・家電を以下からお選びください]
(お答えはいくつでも)(各世代N=200)

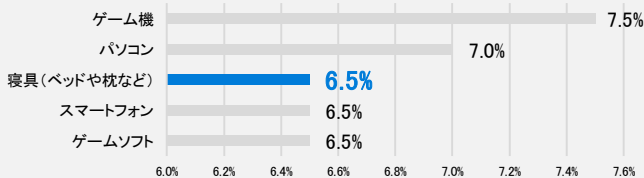
10代



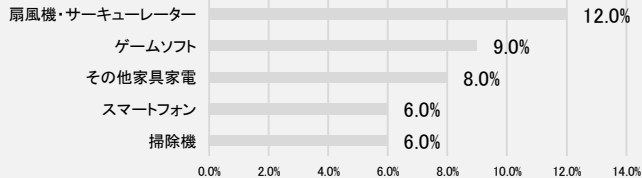
20代



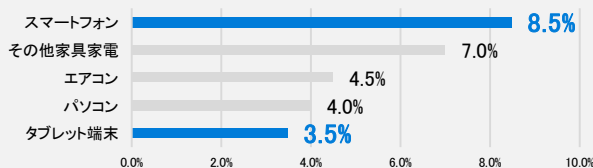
30代



40代～50代



60代～70代



Free ANSER

新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、家庭内のデジタル環境で強化したことは何かありますか？

- ・子どもに邪魔されずに在宅勤務ができるよう、ついたてで個室のような空間を作った。(30代女性)
- ・自宅でパソコンを使う機会が多く、肩こりや猫背が気になったため、姿勢矯正のマットなどを取り入れた。(10代女性)

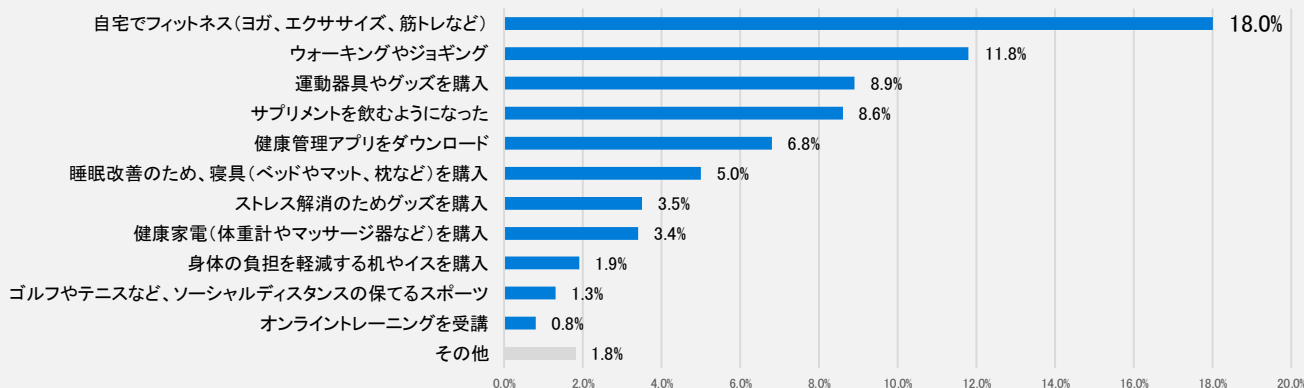
Topic.2

約4人に1人が健康消費を実施。健康への意識高まる。 特に在宅勤務者は、出勤者の約1.5倍健康消費を実施。

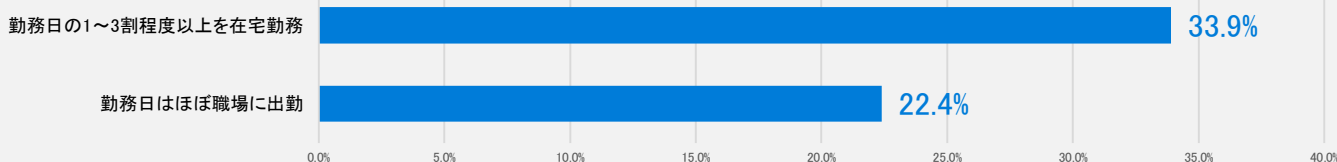
コロナ禍で健康のために購入したもの、始めたことについてうかがいました。自宅でのフィットネスに新しくチャレンジした人は全体の18.0%という結果になりました。また、健康のためにグッズや家電を購入したという人は23.3%※となり、4人に1人が健康のために消費行動を行ったことがわかりました。

また、有職者のうち、コロナ禍で在宅勤務だった人(勤務日の1～3割程度以上)のうち3人に1人が健康消費を行っており、勤務日がほぼ出勤だった人より約1.5倍も健康消費を行っていた傾向も見えてきました。

[新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに健康のために購入したもの、始めたことはありますか]
(お答えはいくつでも) (N=1,000)



〈健康のためにグッズや家電を購入した人 在宅勤務実施者と職場通勤者との比較〉
(在宅勤務 N=218 / ほぼ職場に出勤 N=357)



※下記の回答をいずれか1つ以上選んだ人の数。

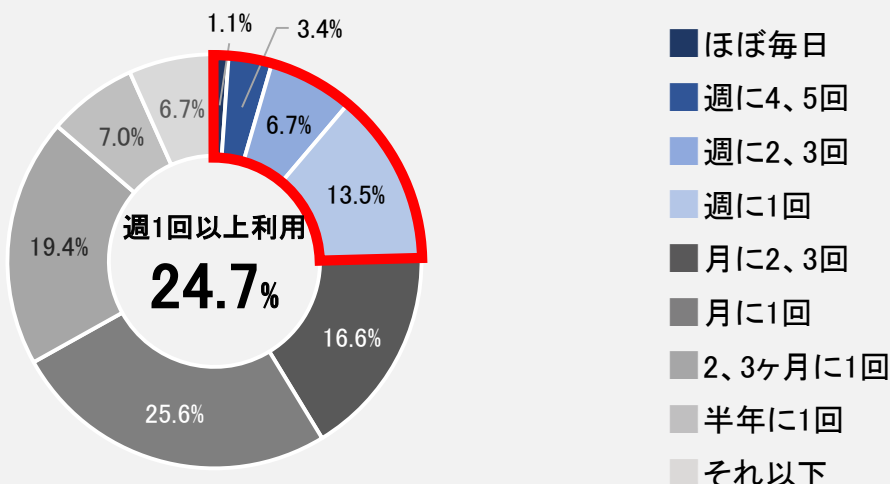
運動器具やグッズを購入した、健康家電(体重計やマッサージ器など)を購入した/睡眠改善のため、寝具(ベッドやマット、枕など)を購入した/ストレス解消のためグッズを購入した/身体の負担を軽減する机やイス(スタンディングデスクや人間工学に基づいたイスなど)を購入した/サプリメントを飲むようになった/オンライントレーニングを受講し始めた

Topic.3

デリバリー・宅配サービスの利用頻度に変化があった人のうち、 約4人に1人が週に1回以上利用。特別な食事から日常の食事へ。

新型コロナウイルス感染拡大後、デリバリー・宅配サービスの利用頻度に変化があったと回答した人のうち、約4人に1人が週に1回以上利用していることがわかりました。デリバリー・宅配サービスによる食事が、たまに選択する特別なものから日常の食事として利用するサービスへ変化したと考えられます。

[今回の新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに「デリバリー・宅配サービス」のサービスの利用状況に変化があったと回答した人]にうかがいます。感染拡大後の「デリバリー・宅配サービス」サービスの利用頻度についてお知らせください
(お答えは一つ) (N=356)

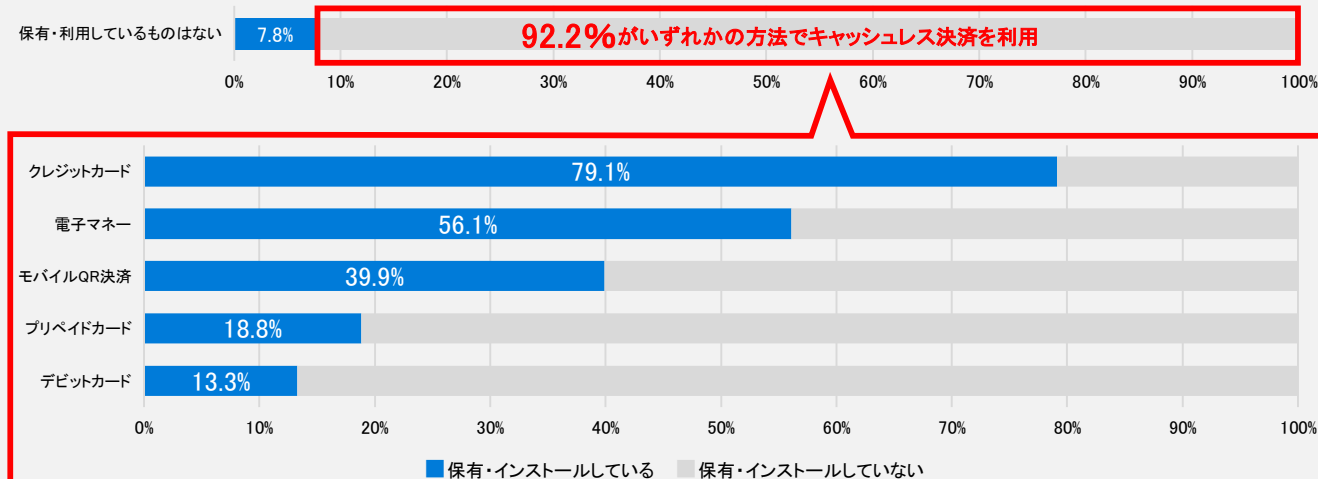


Topic.4 キャッシュレス利用者は92.2%！さらにコロナ禍で約4人に1人がキャッシュレスの利用頻度が増加。ネット通販サービス利用増加の影響！？

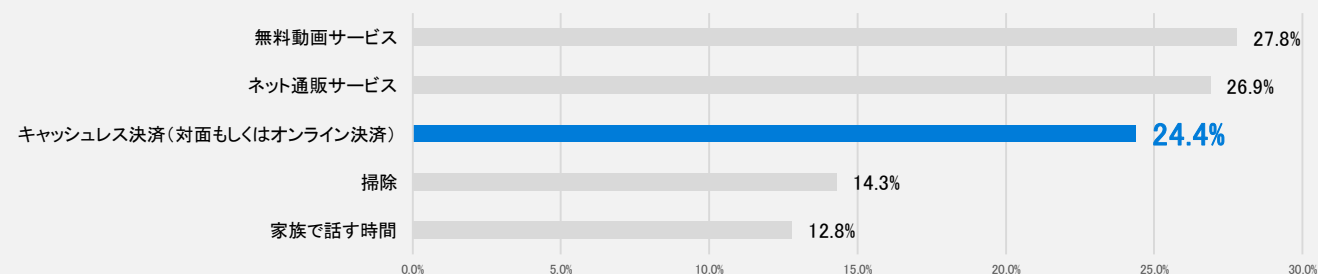
現在、92.2%の人がいずれかのキャッシュレス決済を利用していると答えました。さらに新型コロナウイルス感染拡大後、キャッシュレス決済（対面もしくはオンライン決済）の利用頻度が増えたと、およそ4人に1人となる24.4%が回答しました。

また、新型コロナウイルス感染拡大後に初めてキャッシュレス決済を利用した場所やサービスについては、流通・小売店舗での支払いが29.4%で、次いでネット通販・ネットスーパーなどでの支払いが25.7%となりました。外出自粛による自宅でのインターネット通販などの決済方法として、キャッシュレス決済を利用していたり、実店舗での感染リスクを避けるためにキャッシュレス決済を選択する人が増えたと考えられます。さらに「アイドルやアーティストのオンラインライブのチケット購入(4.9%)」、「オンライン教室(英会話や料理教室、ヨガ教室など) (2.7%)」といった回答もランクインし、新型コロナウイルス感染拡大後、こうしたオンラインを通じたサービスや体験に注目が集まったことで、キャッシュレス決済の新たな利用のきっかけとなったことがわかります。

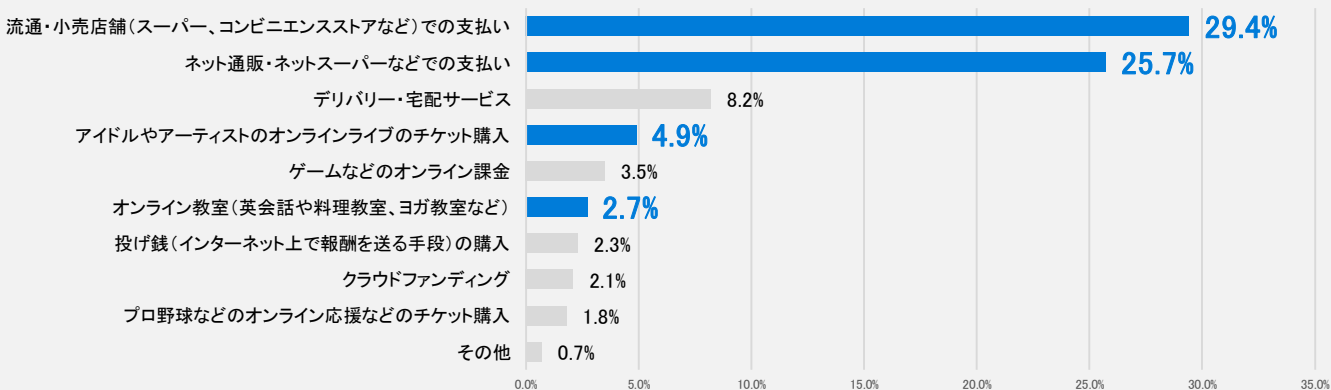
あなたが保有（もしくはインストール）しているものを以下の中からすべてお選びください。（お答えはいくつでも）（N=1,000）



[新型コロナウイルス感染拡大後から利用頻度や時間が増えたものをお答えください]（お答えはいくつでも）（N=1,000）



[新型コロナウイルス感染拡大後に初めてキャッシュレス決済/オンライン決済を利用した場所・サービスを以下からお答えください]（お答えはいくつでも）（N=1,000）

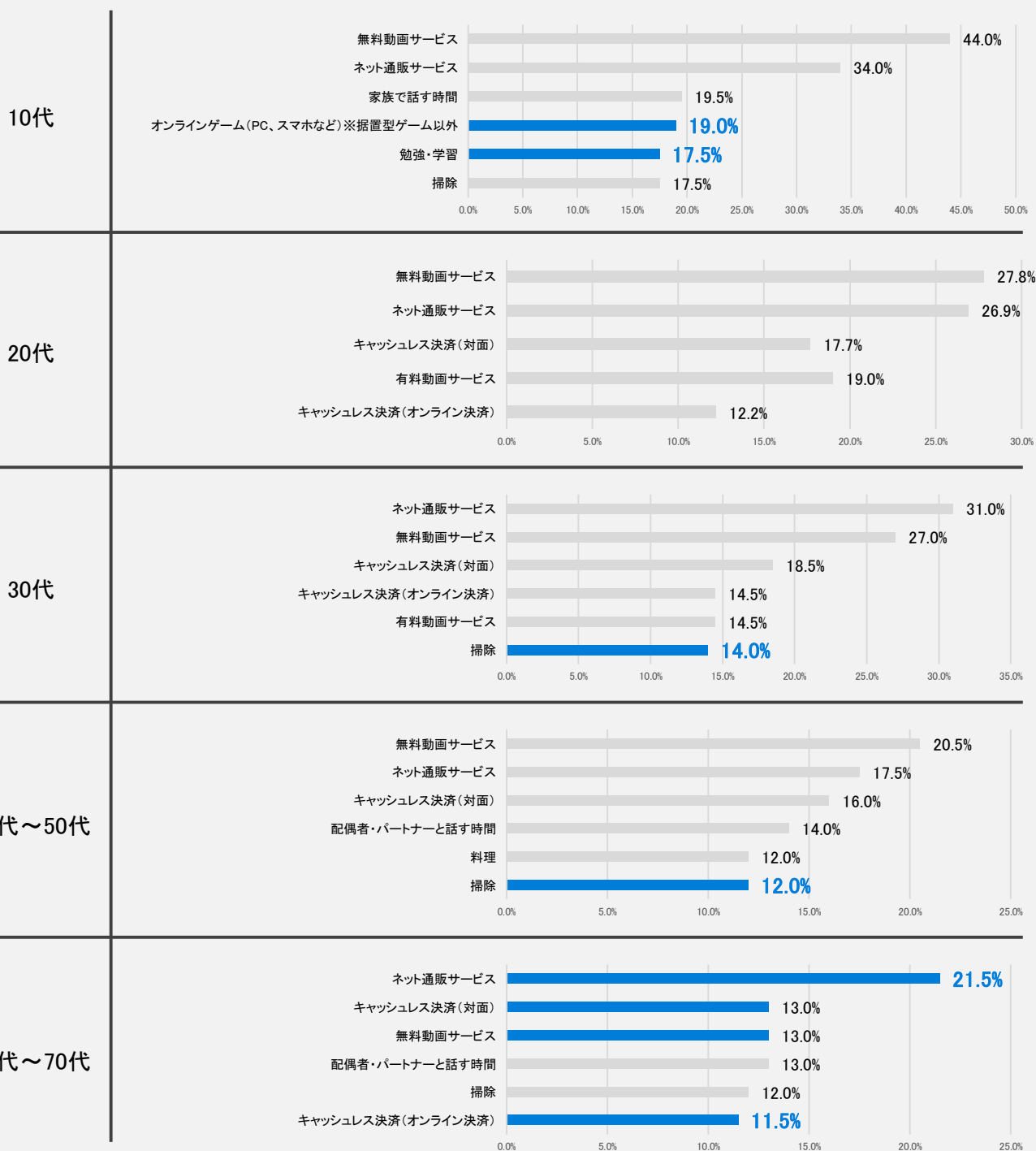


Topic.5 60代以上もキャッシュレスの利用頻度が増加 ネット通販や動画サービス視聴等、シニア層のオンライン化が進む

新型コロナウイルス感染拡大後から利用頻度や時間が増えたものを年代別でみました。10代ではオンラインゲームと回答した人が20%近くいる一方、勉強・学習という回答も17.5%あり、おうち時間にメリハリをつけて過ごしていることが予想されます。30代や40～50代では、掃除がランクイン。普段よりも家族が家の中で過ごすことが長くなった影響や、新型コロナウイルス対策の一環として清潔な空間を意識した結果、定期的な掃除が必要になったと考えられます。

また、60代以上でもキャッシュレスの利用頻度(対面・オンライン決済)が増加したという回答が上位にありました。ネット通販サービス、無料動画サービスもランクインし、コロナ禍では若い世代だけでなく、シニア層の生活においても、オンライン化がより進んだことがうかがえます。

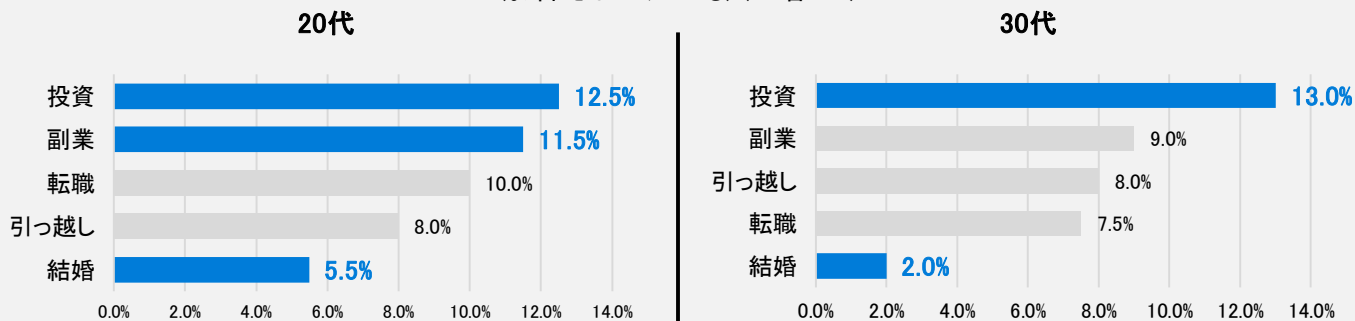
[新型コロナウイルス感染拡大後から利用頻度や時間が増えたものについてお答えください]
(お答えはいくつでも)(N=各200)



Topic.6 20～30代の10人に1人が投資を検討、働き盛りは経済面の見直し

コロナ禍での人生の転機についてうかがいました。20代は12.5%、30代は13%が投資を検討したと回答しました。次いで、副業の検討があがるなど経済面の見直しを検討したことがうかがえます。また、結婚を検討した人も見られ、コロナ禍でライフスタイルや人生プランを見直したことがわかる結果となりました。

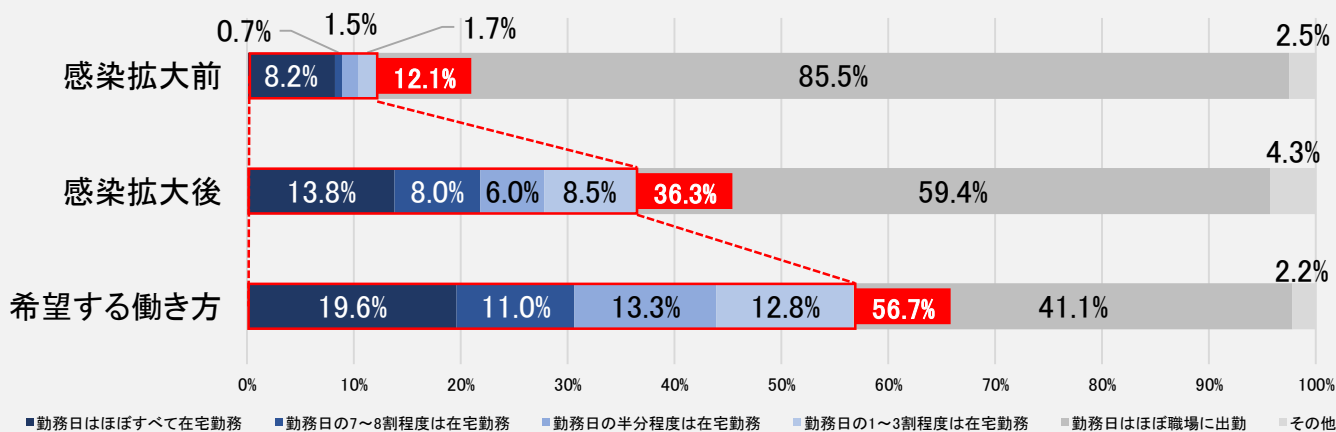
〔新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、人生の転機となるようなことを検討されましたか〕
(お答えはいくつでも) (N=各200)



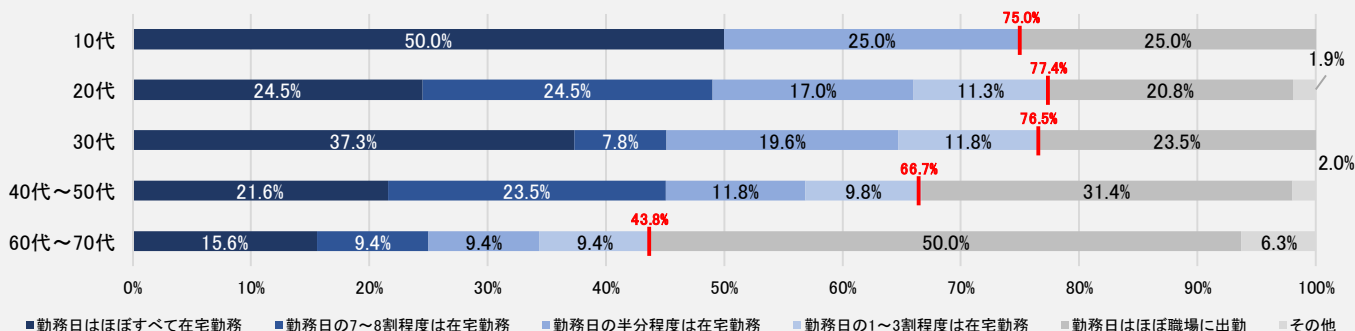
Topic.7 有職者の半数が「在宅勤務」を希望。働く価値観にも変化 30代以下は在宅派、60代以上は出社派と意識が分かれる傾向に

有職者を対象に働き方について聞くと、新型コロナウイルス感染拡大前は、在宅勤務の人(勤務日の1～3割程度以上)は12.1%でしたが、感染拡大後は36.3%となりました。また、希望する働き方について尋ねると、56.7%が「1～3割程度以上の在宅勤務」を希望する結果となり、さらに19.6%は「勤務日はほぼすべて在宅勤務」を希望していることがわかりました。今までになかった在宅での勤務スタイルを経験したことで、「会社に行く」ではなく、「家で仕事をする」という新たな働き方に対する価値観や選択肢が生まれたといえます。年代別にみると、30代以下では75%以上が「勤務日の1～3割以上は在宅勤務」を希望する一方で、60代以上では半数が職場勤務を希望し、年代によって自身の最適な働き方という点においても違いが見られました。

[[新型コロナウイルス感染拡大前]【感染拡大後】の働き方、
【あなたが希望する働き方】に最もあてはまるものをひとつお選びください。](お答えは一つ) (N=601)



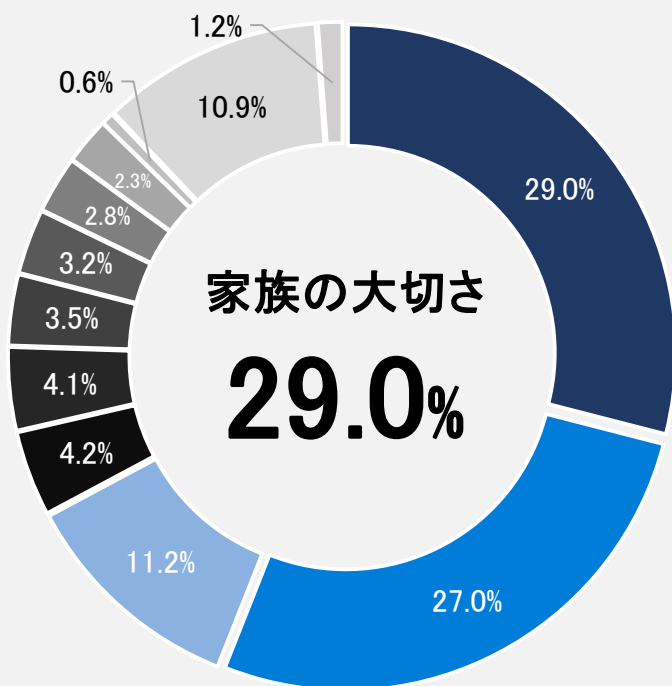
[[あなたが希望する働き方]に最もあてはまるものをひとつお選びください。](お答えは一つ)
(10代 N=16 / 20代 N=161 / 30代 N=168 / 40～50代 N=160 / 60代～70代 N=96)



Topic.8 最も大切だと気付いたことの最多は「家族」約3割が回答

新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに「最も大切だと気付いたこと」を尋ねました。「家族の大切さ」と答えた人が約3割となり、次いで「健康の大切さ」が27.0%という結果となりました。また「直接、会って話すことの大切さ」と11%が回答。コロナ禍をきっかけに改めて、身近にいる人のことや、人とのコミュニケーション、自身の健康の大切さに気付くことになったことがうかがえます。

[新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、最も大切だと気づいたことをひとつお選びください]
(お答えは一つ)(N=1,000)



■ 家族の大切さ	■ 健康の大切さ	■ 直接、会って話すことの大切さ
■ 旅行やお出かけの大切さ	■ 趣味の大切さ	■ 友達の大切さ
■ 仕事の大切さ	■ 外食や会食など、飲食を楽しむ大切さ	■ 雑談や何気ない会話の大切さ
■ 会話はなくても同じ空間にいることの大切さ	■ 特にない	■ その他

BEST3

家族の大切さ

29.0%

健康の大切さ

27.0%

直接、会って話すことの大切さ

11.2%

Free ANSWER

コロナ禍に、遠く離れた家族や恋人、友人との間に起きたエピソード、お互いのコミュニケーションのための新しく始めた試みや工夫は？

- ・普段は盆、正月くらいしか連絡を取らないが、コロナに感染していないか頻繁に体調や、学校の状況など、情報交換を行った。(40代女性)
- ・88歳の米寿のお祝いを北海道と東京、神奈川、岐阜、長崎、大阪で繋いで実施した。(60代男性)

Free ANSWER

コロナ禍での挑戦やポジティブなエピソードは？

- ・通信教育で資格取得をした。(40代女性)
- ・夫が在宅勤務になり料理を少しするようになった。(60代女性)
- ・在宅勤務が増えたので家族との時間が増えた。友人ともオンライン飲み会などをする頻度が増えた。(30代女性)
- ・健康意識は高まったので、夫婦で運動、食事に気をつけるようになりました。(30代女性)

Free ANSWER

このような状況だからこそ成功したこと、良かったことは？

- ・5年会っていなかった友人や、海外留学している友人とオンライン飲み会で再会することができた。(20代女性)
- ・子どもと一緒に料理、野球、テニス、卓球などをするようになったこと。時間に余裕がある生活を送れたこと。(40代女性)
- ・家にいる時間が増え、家族と食事や会話が增えた。昼食後にトランプをやる時間を設けて、家族で楽しむ時間を作った。(40代男性)

JCBは、コロナ禍において「おうち時間」を過ごす日本の生活者を応援したいという想いから、「クイズ！みんなのおうち時間キャンペーン」を2020年9月15日（火）から2020年9月22日（火）まで実施いたします。



【キャンペーン概要】

- ・キャンペーン名：「クイズ！みんなのおうち時間キャンペーン」
- ・応募期間：2020年9月15日（火）～2020年9月22日（火）23：59
- ・対象：「クイズ！みんなのおうち時間」に回答いただいた方
- ・プレゼント：ギフトプレモ15,000円分 *カードではなくURLでのお渡しとなります。
- ・応募方法：JCB公式Twitterアカウントのフォロー、対象投稿よりクイズ回答およびツイート
- ・キャンペーン公式サイト：
【SP】<https://www.jcb.jp/sp/promotion/stayhome/index.html>
【PC】<https://www.jcb.jp/promotion/stayhome/index.html>
- ・JCB公式Twitterアカウント：https://twitter.com/JCB_CARD

※ギフトプレモは、メールやSNSで気軽に贈ることができるデジタルギフトです。gifteeをはじめ、LINE STOREなどのオンラインショッピング・ウェブサイトで利用できます。また、JCBプレモカードへのバリュー移行により、全国30万店以上のお店でも利用できます。

※LINE STOREでは、LINEのスタンプや着せ替え、ゲームアイテムなどをパソコン、スマートフォン、タブレットのブラウザから購入できます。

クイズの内容をご紹介します！

